

活動するから元気をいただく

～花いっぱいのもちづくり活動をとおして～

中間市中央公民館

中間市を花いっぱいにする会 会長 藤永正治

- 1 事業名
団体育成・サークル活動
- 2 事業目的
花をとおして、明るいまちづくりをめざす。
- 3 事業の実施主体
中間市を花いっぱいにする会
会員数 21名（男性11名・女性10名） 平均年齢 72歳
- 4 連携・協力機関・団体等
中央公民館 市都市整備係
- 5 事業予算
市補助金（247千円）及び緑づくり推進協議会補助金（100千円）
- 6 会の設立経緯
昭和46年、行政主導により「郷土を花と緑と太陽でつつみましょう」「私たちの手で町をきれいにいたしましょう」をスローガンに掲げ、婦人会・老人クラブ等の団体に呼び掛け、中間市を花いっぱいにする会が結成された。
その後、活動が停滞し、昭和56年に公民館利用者が中心となり、公民館に事務局を置く「園芸ボランティア」として再出発し現在に至っている。
- 7 事業の内容
 - (1) 活動日 毎週火曜日9：00～11：00
 - (2) 活動内容 市内公共施設の花壇及びプランターの整備（花苗植え、施肥、除草、施水等）を定期的に行い、四季折々の花を咲かせ、市民の目を楽しませることで潤いのあるまちづくりに寄与する。
 - (3) 活動場所 市内の大型商業施設内の花壇及びコミュニティセンター・病院・郵便局・JR駅・交番等の公共施設にある花壇・プランター



(4) その他の活動

- ① 技量向上のため先進活動の視察研修を行う。(春季・秋季)
- ② 「中間市ボランティアまつり」において花苗の無料配布会を行う。(9月)
- ③ 会員の親睦の為懇親会を行う。(夏季・冬季)
- ④ 「中間市中央公民館文化祭」において花苗を販売する。(11月)
- ⑤ 中間市中央公民館・ハーモニーホールの特松づくりを行う。(12月)

(5) 特色ある活動

① 「親子花壇づくり教室」の実施

- ・趣 旨 花をとおして、親子による共同活動の場を提供する。
- ・対 象 小学生とその保護者 20家族
- ・場 所 やすらぎ通り(市道)の花壇
- ・参加費 無料
- ・日 程 平成24年6月9日(土)・6月16日(土)・9月29日(土)の
10:00~12:00
- ・広 報 ①全児童に小学校を通じてチラシ配布 ②市広報誌及び市HPに掲載
- ・経 費 43,000円

昨年度から実施した活動で、本年度は20家族の予定で募集したが、実際の参加者は13家族であった。事前に会員で施肥等花壇の土づくりを行い、教室の初回に専門家から花壇づくりの指導を受け、参加者が花壇づくりの基本を学ぶことにした。

二回目には、参加者家族それぞれが好きな花苗代1,200円分を購入し持ち寄ることにした。この購入費用については、会で負担した。会員のサポートのもと、参加者はわきあいあいと活動を楽しみ、花壇にネームプレートを設置して予定の作業を終えた。



三回目は、花壇の除草作業を行うと同時に参加者に修了証をさしあげた。参加した親子にとってこの修了証は好評であった。

② 「貸出プランターによる花が見える中間市づくり作戦」の実施

- ・趣 旨 市内の街並みを潤いのある通りにしていくため、会で作製した花苗付プランターを無料で市民に貸し出す。
- ・対 象 希望する市民
- ・貸出数 40個
- ・期 間 平成24年12月21日(金)~平成25年4月30日(火)
- ・広 報 市広報誌及び市HPに掲載
- ・経 費 92,000円

この活動は、本年度10月に福岡県地方自治センターの補助金を受けることができ、会で話し合い初めて実施した活動である。

11月から、プランターを入れる木枠を業者に材料費のみで作製依頼し、施肥等の土づくりや苗(パンジー4苗・混色)植えを会員で行い、40個の貸出プランタ

一を準備した。

市民への周知については、12月上旬に市広報誌及びホームページで、花が好きで水やりや摘花等を随時行い、自宅敷地内で市民の目にとまる所に置く方を対象に募集した。

先着順で受け付けたところ、大変好評で広報誌の発行と同時に問い合わせの電話が殺到し、予定数のプランターは直ぐに申し込みを締め切る状態であった。

当初、どのような市民の反応があるのか若干の不安もあったが、最初の木製枠プランターづくりから、「土づくり」・「花苗植え」、「貸出し」まで自分たちで行ったことは会員の自信となった。



8 事業の成果

中間市を花いっぱいにする会は平均年齢72歳、最高年齢91歳の高齢者のボランティアグループである。

これまで長年、花をとおして明るいまちづくりをめざし、市内の公共施設等の花壇の整備を行ってきたが、この日常的な活動に加え、数年前から自分たちの技量の範囲で無理なく出来ることをしたいという機運が盛り上がり、上記①②の活動に取り組み、その結果が新聞等に掲載され活動が認められてきた。その成果として以下の3点が感じられる。

- ①31年間に渡って活動が継続していることは、公民館を事務局として、行政とパートナー関係が築かれたことである。
- ②「自分たちの活動が必要とされている」ということの実感が、心身に元気を与え、次の活動へのエネルギーになっている。
- ③元気な高齢者が活動しているのではなく、適度な負荷を与え、活動するから元気な高齢者になっている。

9 今後の課題

活動をとおして元気をいただいている高齢者ボランティアグループであるが、メンバーの固定化がすすみ、活動の充実・活性化には新しい会員の加入が求められている。

今年、親子花壇づくり教室等新たな活動の取り組みを行うことで、会のことを知り興味のある2名の会員を迎えることができたことは、一つのヒントになるのではないか。

10 問合せ先

中間市を花いっぱいにする会

事務局 中間市中央公民館 809-0014 中間市下蓮花寺3丁目1-1

TEL 093-246-2321 FAX093-246-0277